

【1頁より】

「3月以降の支払いについては、資産の精査を進めた結果次第」、「自主廃業のタイムスケジュールは分からない」、と同社社長の曖昧な説明が続くと、参加出版社のあいだに戸惑いと不信感が広がった。売掛金の焦げ付きや不動産も十数億円ということから、自主廃業自体にも疑問符が投げかけられた。これでは、書店への商品供給の継続を求められても不安が先立ち、送品を止める出版社が多いと見られる。

書店にはすぐ影響がでてきた。カルコスや知遊堂は帳合を変更したが、友朋堂書店は閉店した。太洋社の取引書店は約300法人800書店というが、今回の太洋社の自主廃業で、廃業書店が一気に増えると思われる。3月上旬が次の山場となろう。私の留守に友朋堂書店から常備返品の連絡がきて、店舗は閉鎖したが再開を期すので、その時はよろしくと挨拶を頂き、こちらこそよろしくと答えたそう。土浦からつくばセンターを経て歩いて同店を初めて訪問した若い頃を思い出した。なんとかがんばってもらいたい。

新刊選のこの「ひとこと」を書き上げて、事務局に送信しようとしている

ところに、太洋社からFAXが入って来た。「中間決算書送付および弊社の状況ご報告」（1月22日付）である。

- 1 中間売上高は63億2100万円、中間経常損失3億210万円、中間期純損失1億9400万で、売上は急減した。
- 2 売掛金47億のうち大口取引書店の売掛金12億円が焦げ付く可能性があり、他の「主要延滞売掛先」も焦げ付く事態にあり、「およそ売掛金の半分近くが焦付くこととなります」。
- 3 不動産については、引き合いはあるが、まだ一件も売却できていない。
- 4 帳合変更は見込みを含め50社350店舗で、「帳合変更に伴う回収実績は平成28年2月末時点でおよそ9億400万円」で、「帳合変更を諦め、個別取立の強化を検討せざるをえない」。

と危機的現状を報告した。返品が4割も来れば、残りはわずかとなろう。

同社はこうした現況を踏まえ、「弊社では、書籍等の供給を継続して頂いているお取引出版社さまにご迷惑をお掛けすることのないように、現時点では、主に、帳合変更が現に進んでいるお取

引書店様からの注文・取引に係る書籍等について供給を継続して頂けるように取次業務内容を慎重に点検する」とともに、出版社には「これまでとは異なり、配本先にもご留意頂いたうえ、既に帳合変更の手筈が整ったお取引書店様への書籍等の供給に遺漏なきようご協力をお願い申し上げます」とある。

太洋社の取引先300法人800書店の残り250法人450書店には雑誌書籍を流さずに取立に徹するというのである。

これでは、太洋社自身の自主廃業の展望もなくなり、膨大な書店が廃業に追い込まれるという、最悪の事態を迎えそう。

帝国データバンクの大型倒産情報によると、2月26日、芳林堂書店が東京地裁に自己破産を申請し同日付で破産手続き開始決定を受けた。負債は20億円。関連店舗は高田馬場本店他8店舗とのことである。別情報によると、店舗事業等はアニメイトグループの書泉に引き継がれるまで営業継続とのことである。これで太洋社はますます追い詰められたといえよう。

●会員社一覧【2016年2月現在●89社】

<p>【あ】 阿吽社 重紀書房 あけび書房 梓出版社 あつぷる出版社 アーニ出版 ありな書房 一光社 インパクト出版会</p> <p>【か】 海象社 凱風社 解放出版社 海鳴社 花伝社 雁思社</p>	<p>吉夏社 気天舎 弓箭書院 教育史料出版会 雲母書房 健学社 健康と良い友だち社 現代企画室 現代書館 現代人文社 皓星社 合同出版 コスモの本 コモズ</p> <p>【さ】 桜井書店 彩流社</p>	<p>三一書房 三元社 山文社 三陸書房 時潮社 社会評論社 松柏社 不知火書房 新宿書房 新泉社 水声社 スタジオタッククリエイティブ 青灯社 世界書院 せりか書房 千書房 創森社</p>	<p>創土社 草風館</p> <p>【た】 第三書館 大蔵出版 田畑書店 知泉書館 筑波書房 柘植書房新社 同時代社 道玄坂書房 東京漫画社 東信堂 都政新報社</p> <p>【な】 七つ森書館 南方新社</p>	<p>日本経済評論社 にんげん出版</p> <p>【は】 バイインターナショナル 白澤社 書籍工房 早山 晩成書房 ひとなる書房 批評社 フィルムアート社 風濤社 風媒社 ブロンズ新社 べりかん社 北樹出版 歩行社 本の泉社</p>	<p>ほんの木</p> <p>【ま】 明月堂書店 めこん 木犀社</p> <p>【や】 唯学書房 有志舎</p> <p>【ら】 リベルタ出版 緑風出版 れんが書房新社 論創社</p>
--	---	---	--	---	--

出版協BOOKSを利用される皆様へ

●出版協は一貫して「消費税総額表示」に反対です。本紙ではもちろん、**従来どおり「本体価格」**(私たちの主張では「定価」)での表示を継続しています。
●これは、出版協加盟の出版社が「16年3月」に出版する予定の書籍・雑誌を紹介した「3月に出る本」

リストです。
●このリストから**注文される場合**、それぞれの出版社に直接、FAXかEメールを送って下さい。担当者名、希望条件、連絡方法も明記して下さい。